

EMERGENCY WATCH!

疾患頻度

1. 急性上気道炎・感冒	500人
2. 感染性胃腸炎	386人
3. 気管支喘息・喘息性気管支炎	164人
4. インフルエンザ (確定：A型28人、B型74人)	143人
5. 咽頭炎・扁桃炎	139人

神戸こども初期急病センター

2017年4月受診者数 2007人

No.77
May.2017

若葉萌える好季節となりました。皆さんお変わりございませんか。
今回はこれからの季節に患者数が増えることが予想される手足口病をとりあげようと思います。

Q1:どんな病気?

手足口病は、手や足、臀部、膝、口腔内などに出現する水泡を伴う紅斑を主徴とするウイルス感染症です。5歳以下の乳幼児を中心に、主に夏に流行します。起因菌はコクサッキーウイルスやエンテロウイルス、エコーウイルスなど数種類のウイルスがあり、飛沫感染、接触感染、糞口感染という感染経路が知られています。そのため集団生活をする乳幼児では集団感染が起こりやすいです。

Q2:症状は?

上記に述べたように、手や足、臀部、膝、口腔内などに数mm大の水泡を伴う紅斑、いわゆる“ぶつぶつ”が出現します。その他、種々の程度の発熱や、下痢などの消化器症状を伴うこともあります。一般には軽微です。

Q3:診断は?

特別な検査はありません。口腔内、口周囲、手、足などに水泡を伴う小さい発疹があれば診断がつきます。口腔内、周囲の発疹については単純ヘルペス感染、ヘルパンギーナなどが鑑別にあがります。

Q4:治療は?

手足口病の特効薬はありません。特別な治療を必要とすることなく一般には軽快治癒します。口腔内の痛みにより食事が十分にとれないこともありますが、口にできるものをとるようにしていれば問題ないです。

Q5:合併症は?

まれに髄膜炎や脳炎などを合併することがあります。どちらも脳神経の合併症であり意識の状態に支障をきたします。

Q4:受診のタイミングは?

視線があわない、呼びかけに応えないなど意識の状態がおかしい場合はすぐに医療機関を受診しましょう。そのほか、水分が全く取れない状態が続く場合や、ぐったりしている場合にも一度、小児科や急病センターに相談してみてもいいでしょうか?